

1 概要

宮城県慶長使節船ミュージアムは、令和4年11月から長期休館し、建築・設備の改修や展示物の全面リニューアルを進めているところ。

この度、工事完成の目途がついたため、リニューアルオープンの予定日及びリニューアルの内容について報告するもの。

2 リニューアルオープンについて

○ 予定日

令和6年10月26日(土)

※当日は関係者による記念式典の開催後、一般来館者へ公開

○ 記念事業等

①リニューアルオープン記念イベント

[期間] 令和6年10月26日(土)、27日(日)

[内容] 飲食物販ブース(地場産品等)

ステージ演奏やロープワーク体験等(27日のみ)

②特別企画展「ローマへの遠い旅 -高橋由貴彦写真展-」

[期間] 令和6年10月26日(土)～令和7年3月17日(月)

[内容] 石巻市出身の写真家・歴史研究者である高橋由貴彦さんが、1970年代に慶長遣欧使節の旅をたどって各国の風景を撮影した写真を関連資料も交えて紹介

3 展示リニューアルの内容

ポイント

- ▶大型グラフィック、音声、映像を使った分かりやすい展示内容
- ▶QRコードを使った多言語解説、シアター映像は多言語の字幕版を製作しインバウンドに対応(日/英/韓/中(繁体・簡体))
- ▶精巧なレリーフ(浮き彫り細工)や復元船を製作し、AR技術や映像・音声を併用した迫力ある展示

展望棟

○ ロビー展示

伊達政宗と国づくり等

仙台藩主、伊達政宗の国づくりや、大航海時代の到来により慶長遣欧使節を派遣することになった経緯などを大型のパネルで解説

出帆シーン

現在の石巻市月浦から使節船が出帆する様子を精巧で立体的なレリーフと臨場感あふれる映像、音声、ナレーション解説で再現



○ 慶長使節展示室

ふぁしくらとかいけんおうき

ファスクラ渡海遣欧奇

画家・山口晃さんが描いた絵を長大なパネルに表現
「慶長遣欧使節の旅」を一目で見渡すことが可能



万国地球儀

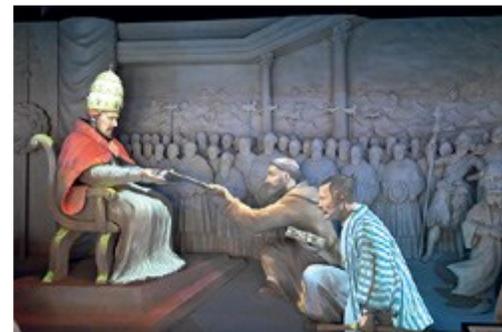
こんよばんこくぜんず

17世紀の世界地図「坤輿万国全図」を地球儀で表現
音声と映像、ナレーションを用いて慶長遣欧使節の旅のスケール
感を分かりやすく解説



ローマ教皇との謁見式

慶長遣欧使節の旅のハイライトである支倉常長とローマ教皇の謁見の様子を、精巧で立体的なレリーフで再現
色鮮やかな映像と音声、ナレーション解説により、当時の華やかな
雰囲気演出



○ シアタールーム

シアター映像「夢うつつ」

伊達政宗・支倉常長などの物語を、アニメーションと実写・CGを組み合わせた映像と俳優鈴木杏さんによるナレーションで表現
座席は広々としたベンチシートに改修し、迫力ある大画面で作品を
楽しむことが可能(約20分)



ドック棟

○ 東ウイング

帆船の建造工程や船内の生活、航海技術などを壁一面のイラスト等で分かりやすく解説

木造復元船の記録についても部材等を展示して紹介するほか、VR体験コーナーでは、在りし日の木造復元船を探検することが可能



○ 屋外広場

木造復元船を展示していたドックホールを広場にし、中央には4分の1スケール・FRP(繊維強化プラスチック)製の復元船、原寸大マストを展示

AR(拡張現実)技術を導入し、船の構造や展帆の様子をスマートフォンやタブレット上で解説



○ 西ウイング

木造復元船の部材を原寸大で展示

屋外広場と一体になった半屋外の展示空間で、復元船の魅力を体感できるよう工夫



新型コロナウイルスワクチン及びインフルエンザワクチンの定期接種開始について

フロアマップ Floor Map



展望棟

石巻市渡波地区から福島県までの海岸線を一望できる小高い丘に立地。慶長遣欧使節の歴史について紹介。

ドック棟

海のすぐ傍に立地。「サン・ファン・バウティスタ」号を中心とする帆船文化や海洋文化について紹介。



展望棟

ドック棟